

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.75)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況について

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)は、5月30日に春期定期点検が終了し、その後、停止していた設備を順次立ち上げ、設備の立ち上がり具合を確認しながら、6月4日から処理を再開しました。6月の実績は下表のとおりです。

写真は、6月23日、豊田市の立ち会いの下、豊田施設で初めてPCB廃棄物として保管容器を受入れた時の様子です。

平成22年6月の操業実績

種 別	受入台数	ライン投入台数
コンデンサ類	486 台	502 台
トランス類	大 型	5 台
	小 型	20 台
	車 載 型	2 台
廃PCB等	8 個	8 個
保管容器	1 個	1 個

※受入後、一時保管してから計画的に処理ラインに投入するため、受入台数とライン投入台数に差が生じます。



運搬車から運搬容器を降ろす



インナートレイから保管容器を取り出す

2. PCB廃棄物の7月の受入計画について

平成22年7月の受入計画(予定)

種 別	受入台数	
コンデンサ類	566 台	
トランス類	大 型	5 台
	小 型	14 台
	車 載 型	3 台
廃PCB等	8 個	
保管容器	1 個	

7月のPCB廃棄物の受入計画は、左表のとおりです。

コンデンサ類は、豊田市内の事業者から22台、愛知県内から179台、岐阜県内から31台、静岡県内から334台を受け入れる予定です。

大型・小型トランス類は、愛知県内から5台、三重県内から14台、車載型トランスは静岡県内から3台を受け入れる予定です。また、ドラム缶に入っているPCB油(廃PCB等)は、愛知県内から8個、保管容器は、豊田市内から1個を受け入れる予定です。

3. 少量保管事業者に対する説明会の開催について

弊社では、処理対象であるPCB廃棄物(トランス、コンデンサ等)の少量保管事業者を対象に、各地で『PCB廃棄物処理説明会』を開催しています。

6月8日には愛知県犬山市を対象に説明会を実施し、合わせて41社の事業者の方々にご出席いただきました。

説明会では、平成22年11月～平成23年2月の重点搬入期間に向けて、受入までに進めていただく契約諸手続き、事業者間の積み合わせ運搬等の説明を行いました。

今後も計画的に少量保管事業者向けの説明会を実施し、少量保管物にも配慮したPCB廃棄物の処理を継続してまいります。



説明会の様子(犬山市会場)

4. 安全への取り組み

安全で確実なPCB処理を行うためには、設備を熟知し適切に運転するだけでなく、日常作業に潜む事故の芽の把握とその対応が重要です。豊田施設では社員教育の一環として、「安全」につながる様々な講習、活動を実施しています。

(1)安全セミナーの実施

PCB処理を安全に進めるための教育訓練の一環として、定期的に安全セミナーを開催しています。

6月21日及び25日に、「液処理工程の運転管理」をテーマに開催しました。

- ①液処理工程の物質収支、②反応槽での留意点、③後処理槽での留意点等について説明がありました。

出席者から活発に質問が出て、運転管理を行う上での留意事項、影響等についての知識を深めました。

(2)HHK活動強化月間について

今月は、7月1日～7日に行われる「全国安全週間」の準備月間として、豊田施設では6月を「HHK運動」の重点月間として取り組みました。

HHK活動とは、最初のHHが「ヒヤリハット」(ヒヤリとしたこと、ハットとしたこと)、Kが「気がかりなこと」を指しており、背後にかくれている作業環境、設備機械及び作業方法等の「不安全状態」や、つい、うっかり等の「不安全行動」の危険要因を摘み取り、事故に至る一步前のヒヤリハット、気がかりの事例を発見し改善策を見いだして、事故を未然に防止する活動です。

自分の周辺を見渡し、職場に潜在している危険な芽を摘むことを目的に、1人1件以上を目標に取り組みました。



安全セミナーの様子

5. 産業医による健康講話の実施

豊田施設では社員の健康管理の一環として、産業医による健康講話を実施しています。本年度第1回を6月22日に実施しました。今回は「快眠生活をおくるために」と題して健康維持・増進に関係の深い「睡眠」について実施しました。

- ①睡眠の役割・メカニズム 脳と体に休養を与え、回復させる。睡眠の種類による状態の変化や効果的なとり方、快適な睡眠への入り方そのための方法、またそれを妨げる要因などについて。
- ②眠気もたらす影響 睡眠が十分に取れていない場合には作業能率が約4割も低下することやうっかりとしたミスや事故の発生が多くなることなどについて。
- ③快眠生活を送るためのポイント(抜粋)
 - ・就寝前4時間のカフェイン摂取、1時間前の喫煙は避ける。
 - ・入浴は、就寝の約1時間前までに済ませる。
 - ・早起きは早寝に通じるので、毎朝同じ時刻に起きる。
 - ・朝食は心と体の目覚めに重要、夜食はごく軽く。
 - ・生活習慣の改善(肥満防止、禁煙、アルコールを控える)
- ④十分な睡眠をとらねばならない6つの理由
 - 1.記憶のため
 - 2.スリムであるため
 - 3.安全のため
 - 4.幸福のため
 - 5.心臓のため
 - 6.強くあるため



健康講話の様子

参加者全員が、質のよい睡眠がもたらす、健康、安全について熱心に受講しました。梅雨から夏へと、むし暑い時期になりますが、施設内外において十分健康管理に努めてまいります。

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>